

労働組合活動歴

松下幸之助創業者の思想、「対立と調和」による労使対等の新しい労使関係。

高畑敬一委員長の建設的な政策と運動による新時代の福祉の向上、社会の改革を目指した労働運動の組織再編と政治への影響力強化に関わったことが大きな人生の誇りとなった。

- 1965 S40.8 部品支部執行委員に選出（非専従：セラミック分会長）
- 1967 S42.8 休職：松下電器産業労働組合専従支部執行委員
- S43.8 支部専従賃金部長（仕事別賃金制度の導入、格付け）
- 1969 S44.8 支部専従書記長（情宣機関誌・賃金部長・書記長）
- 仕事別賃金制度実施、格付け、
- 初の寝屋川市議会議員選挙、金本議員を体験
- 1972 S47.7 松下電器産業労働組合中央執行委員就任
- （教育部長、情宣機関紙部長、機関紙「ユニオン」発行）
- 1973 S48.7.21 「ユニトピアささやま」開設
- S48.8 松下労働学校初級・中級・上級コース誕生 S49.11.4
- （年間 23 回、3000 人の活動家養成、S61.5.25、13 年間で初級 200 回 15,920 人終了）
- 新しい運動に関わる多くの仲間を育てることができた。
- S49.7 福間知之参議院議員誕生
- 1979 S54.11 研修中に松下病院入院（十二指腸潰瘍：胃 2/3 と十二指腸切除）
- 1980 S55.7 中央執行委員組織部長就任
- （加賀松下組織化、夏休み 10 日など長期休暇の年次有給休暇取得の推進）
- 1982 S57.7 前川委員長就任、松下電器産業労働組合本部書記長就任
- 1983 S58.12.19 中村正男衆議院議員誕生（大阪 7 区選挙）
- 1984 S59.8 松下労組本部書記長退任
- 1984 S59.9.16 復職（松下電子部品（株）セラミックコンデンサ部へ原職復帰）